

福島県三島町
広報

平成 27 年 2 月 6 日発行
(毎月第 1 金曜日発行)

Public relations
of Mishima-town,
Fukushima in Japan

みしま

2015

February
如月

2

No 263



受け継がれる 郷土の炎

写真／滝谷地区のサイノカミ

滝谷地区ではサイノカミに火がつき、燃え上がっていくと、「胴突き」が始まります。サイノカミの周りを反時計周りに三回ほど回り、その後胴上げし厄を払います。



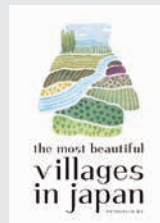
燃え盛る炎に 一年の無事を祈る

「日本で最も美しい村」連合 町の登録資源「住民に根付く民俗行事」

国の重要無形民俗文化財 三島のサイノカミ

1月15日夜、町内各地で火の粉を散らし、真っ赤な炎が上がりました。国の重要無形民俗文化財に指定された小正月行事「サイノカミ」です。

サイノカミには、家内安全、五穀豊穡、無病息災など一年の無事を願う厄払いの意味があります。住民が力を合わせてサイノカミを作り、思いを込めて火を燃やす行事は、欠かすことのできない町の小正月行事として今でも受け継がれています。どの地区でも少子高齢化による人手不足の中、先人から受け継いできた文化を絶やさず、継承しようとする地区の方々の熱い想いにより、町内11地区、計21箇所ですサイノカミが行われています。



2月 目次

2 鳥追い

3 サイノカミ

4 地区座談会の報告

8 町民記者通信

松原地区の新年会／
早戸地区でお参りと新年会／
宮下地区新年会／
消防団出初め式／
出初式で無火災祈願／
雪山にカモシカ／
鎮守様に新しい注連縄／
女のご年始／
川井音松寺のお日待ち／

10 民話 第47話 きつねとかわうそ

夢ポケット **Book Review**

11 こんにちは。協力隊です。Vol.16

12 会津坂下警察署から／会津坂下消防署
三島出張所から／県立宮下病院から／
保健・子育て・健康づくり予定／地域
ふれあいサロン予定／町の人口と世帯

14 地域おこし協力隊 募集中です



松原地区で行われた「鳥追い」の様子

鳥追い 小正月の行事

一年の豊作を祈り
地区内に子どもたちの声が響く

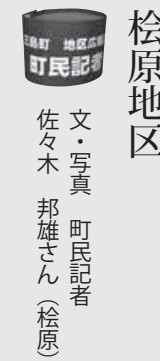
「今日はどこの鳥追いだ
長者様の鳥追いだ
ホヤー ホヤー」

松原地区の伝統行事
「鳥追い」は1月14日夜、
松原地区の方々のほか、
他地区の子どもたちなど
も参加して行われまし
た。

昔から伝わる歌を歌い
ながら集落を歩き、農作
物に害のある鳥を追いか
う民俗行事です。子ども
たちは自分たちで作成し
た旗を持ち、厳しい寒さ
の中を歩きました。
参加者らは伝統行事が
受け継がれる様子を見守
りました。



松原地区のサイノカミは
春日神社で行われ、地区の住
民が1年の健康や幸せを祈り
ました。海老名英機区長を中
心に約10mのサイノカミを作
りました。
みぞれの降る中での作業と
なり、オンペに点火すること
ができるのか心配されました
が、還暦を迎えた阿部時夫さ
んらにより点火されると、音
を上げて勢いよく炎上がり、
歓声が響き渡りました。会場
では餅やスルメを焼き、年男
や年女がみかんとお金を撒ぎ、
お神酒が振る舞われ、小正月
行事を皆で楽しみました。

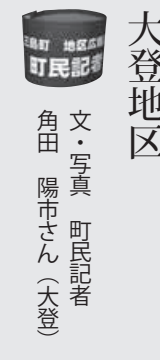


松原地区

文・写真 町民記者
佐々木 邦雄さん（松原）



大登地区
1月14日・15日、恒例の小
正月行事、サイノカミが行わ
れました。15日の午前9時、
今年還暦を迎えられた馬場一
浩さんの寄付による御神木を
迎えに出発。総勢15人の手に
より丁寧にならなまかれまし
た。前日の夜作られた幣束が
先端に取り付けられ完成。は
しごを使い独特のかけ声で高
さ12mのサイノカミが立てら
れました。
午後7時、厄年の方々など
により点火され、炎が先端の
御幣に燃え移ると会場は歓声
に沸きました。みかんまきも
行われ、持ち寄った餅やすめ
を焼きながら今年1年の無病
息災、家内安全を祈りました。

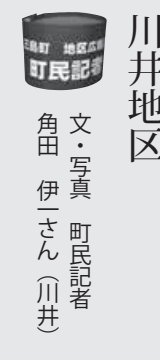


大登地区

文・写真 町民記者
角田 陽市さん（大登）



川井地区で400年の伝統を誇
るサイノカミが盛大に行われま
した。午前9時からサイノカミの神
柱を迎える組とオンペイを切る組
に分かれ作業しました。子ども達
は日曜日に各戸をまわり注連縄や
棚紙（神札）を集め、バンバも大人
に混じって踏み固めておきました。
柱への藁葺きは昼前から急ピツ
チに進められ、例年以上に太い神
柱に手際よく藁が巻かれて行き、
見学に来た観光客は驚嘆して眺め
ていました。夕刻から強い雪空に
変わりましたが、4時前に無事サ
イノカミはバンバに立ちました。
午後7時に神社から採火した松明
で点火されると火は勢いよく燃え
上がり、雪原を赤く染めました。



川井地区

文・写真 町民記者
角田 伊一さん（川井）



福島県大沼郡三島町 みしままち

三島町は、福島県の西部を流れる只見川沿いの小さな町です。優良な「会津桐」の産地として知られるほか、小正月の行事「サイノカミ」や、野山の材料で作る「編み組細工」などの伝統が受け継がれ、「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

■面積 90.83km² ■人口 1,820人（1月1日現在）



写真／町民記者
坂内洋二さん



間方地区で行われた地区座談会

地区座談会

町民167人が出席

地区座談会は11月11日から12月8日にかけて、町内15会場で行われ、振興計画や防災対策、地区要望調査の取組状況などについて説明と質疑応答が行われました。その主な内容を報告します。

①振興計画

（地区計画）について

〔要望〕昭和56年から振興計画が始まっているが、過疎化が止まらない。対策や結果等の研究が必要ではないか。後期計画も現状を見てしっかり策定してもらいたい。

〔回答〕過疎化対策は住む場所や働く場所など課題が多い。基本構想を継承しつつ現状に合った計画を立てていきます。

〔意見〕振興計画の中にある「美しい地区づくり」が漠然としていて目標が見えない。

〔回答〕伝統文化の継承や地区活動を支援し、地区を元気にする取り組みです。

〔意見〕振興計画策定から4年が経過し、その間の活動で地区に人が来てくれるようになったが、原発の影響による山菜、きのこの出荷自粛などで行き詰っている。今後、若い人が集まり、地区住民の絆を深められるような計画を地区としても作りたい。

〔回答〕地区が楽しく活動できて、より良くなっているように、地区計画づくりの中で

話し合っています。

〔質問〕振興計画が示されたが、子どもの数が減少している。今後の教育に関して、町がどう対応していくのか教育長の考えをお聞かせ願いたい。

〔回答〕宮下・西方小中学校が合併時には149人いましたが現在は小学生55人、中学生33人です。今後は地域性、国際性が重要です。他校との交流や伝統行事を学ぶことで視野を広げることとを目標としています。

先生方にも他校と交流してもらえよう県に要望していきます。一度町外に出て、また町に戻ってくるような子どもに育てていくことを目指しています。

〔意見〕振興計画の地区の目標について、未だ未執行の状況であるにも関わらず、次年度に見直しを行うというのはおかしいのではないか。

〔回答〕地区の目標は町が実施することを掲げているわけではありません。地区の方々が主体となり活動してもらい、その状況に応じて町が支援していくことを想定しています。

〔要望〕計画が分かりにくいの

でもっとわかりやすくしてほしい。

〔回答〕計画の内容については分かりやすい計画になるように協議して策定したいと思います。完成した振興計画は全戸に配布します。

〔意見〕前期基本計画の達成度評価を行うべきではないか。

〔回答〕適正に評価を行い、その内容は町民の皆さんに公表したいと考えています。

〔質問〕若年層向けの就業支援や定住対策は行ったのか。また、その結果、効果は出たのか。

〔回答〕緊急雇用創出事業などによる就業支援や、町営住宅の整備や空き家等助成制度などを実施しています。今後はこれまでの反省点や改善策を後期計画に反映させられるように検討していきます。

〔意見〕役場職員が少なく、現状では1人で多くの担当を抱えているが、今の体制で人口減少という大変な課題を解決できるのか。専門部署を設置し人口減少問題に真剣に取り組むべきだ。

〔回答〕人口減少は国全体の問題であり、町規模での取組みでは難しい状況です。

③地区要望の

取り組み状況について

〔要望〕集会所の屋根を塗り替えて欲しい。

〔回答〕複数の地区から同じ要望が出ているので、年次的に実施していきます。

〔質問〕地区要望に対する取り組みの方針を聞きたい。

〔回答〕各地区から要望された内容について、優先順位を考慮し、単年度で実施可能であればすぐに対応し、期間を要するものは年次計画を立て対応していきます。

〔要望〕老朽化した消火栓の改修をお願いしたい。

〔回答〕複数の地区から同じ要望が出ているので、年次的に実施していきます。

てほしい。

〔回答〕防災無線で早めに呼びかけるほか、防災計画の見直しの中で、状況に応じて避難指示を出すように明示したいと思っています。

〔質問〕停電が発生した場合の町の対応は。また、どの地区が停電しているか把握できるのか。

〔回答〕停電した地区に対して防災無線で放送しています。停電箇所については東北電力からどの場所で停電しているか役場に連絡が来ます。

〔要望〕IP告知端末や防災ラジオの使用方法をもっと周知したほうがよい。また、防災無線の内容は対象地区のみではなく、近隣地区にも放送したほうがよい。

〔回答〕今後対応を検討します。

〔質問〕有事の際に住民が具体的にどのように動くのかシュミレーションしているか。

〔回答〕まだしていませんが、今後関係機関と連携し具体化したいと考えています。

〔質問〕防災無線のポリウムが大きかったり小さかったりする。また、屋外拡声器からは流れたり流れなかったりする

〔質問〕人口推計に基づいた計画を立てているのか？

〔回答〕人口推計に基づいた地区ごとのバックデータはありません。今後、人口ビジョンを作成し、振興計画を策定していきます。

〔要望〕1度転出し戻ってきた人（Uターン者）や若い人に対して仕事の斡旋や補助、結婚対策などを積極的に行ってほしい。

〔回答〕働く場の確保については特に重要な課題の一つとらえ、引き続き取り組んでいきます。

②防災対策について

〔質問〕豪雨などにより災害の危険がある場合、避難を判断する際の町の情報収集の方法、避難判断基準はどのようになっているか。

〔回答〕気象庁や県から出された警報により、避難要否について判断します。雨量によっては地区別に避難勧告や指示を出すことになりました。今後の防災計画で、各地区ごとの情報収集の方



早戸地区で行われた地区座談会

4 空き家の

適正管理について

〔質問〕空き家住宅改修費等助成金は来年度以降も実施するのか。また、町内業者でなければだめか。

〔回答〕来年度以降も実施する予定です。原則的には町内業者としていますが、やむを得ない場合は町外業者でもかまいません。

〔質問〕解体した廃材を処理組合に持ち込めないか。

〔回答〕個人から出された廃材は受け付けられません。

〔質問〕空き家住宅改修費等助成金の利用実績は。

〔回答〕平成26年度5件、25年度13件、24年度4件です。

〔質問〕住んでいる家は助成対象になるか。

〔回答〕世帯員の増加に伴う増築などの改修は対象になります。

〔質問〕空き家を活用する方策はあるのか。

〔回答〕すぐに活用できる物件は少ないですが、移住希望者からも問い合わせがあるため、所有者と調整しながら、県の空き家活用サイトに登録し、利活用に努めます。

5 その他の質問・意見

〔要望〕一品目でも放射性物質が検出されれば、全ての野生きのこが出荷制限になるのは納得できない。後手に回らない対策をお願いしたい。

〔回答〕野生きのこの出荷停止基準は国の方針であり、その仕組みを変えられるよう県に強く要望しています。

〔質問〕大林ふるさとの山のあり方について町の考えを教えてください。

〔回答〕今後の活用方法は現在検討しているところです。今後樹木医に診断してもらい、桜の木の間伐を実施する予定です。また、ディスプレイネーションキャンペーンも始まるため、誘客事業を強化していきたいと考えています。

〔質問〕農地パトロールの結果は公表しないのか。

〔回答〕今年度実施したパトロールの結果は公表していません。

〔意見〕ひだまりの温泉の湯量が少ない。

〔回答〕ひだまり周辺の源泉は、ポンプ圧送しておりますが、設備の不調により湯量が少ない時がありました。現在は調

整し不具合は解消しています。今後も安定した温泉の供給に努めていきますので、ぜひご利用ください。

〔質問〕町の人口の公表について、新聞と広報誌で数が異なるのはなぜか。

〔回答〕住民台帳と国勢調査の人口の違いです。

〔質問〕一貫教育や統合についての構想はあるか。

〔回答〕子どもたちにはスポーツだけでなく、学習面での交流事業を実施しています。その他にも教職員の意識向上を図り、視野の広い教育を実現していくことを目標にしています。現状では、統合の予定はありません。

〔提案〕学校のグラウンドに雑草やツルが目立つ時がある。生徒やPTA等だけで難しい場合は、ボランティアを広く募ってはどうか。

〔回答〕サポート会などで施設の整備などに協力しています。また、今後はボランティアの協力も検討していきます。

〔質問〕マイマイガ駆除にはどんな薬が効くのか。

〔回答〕現時点では有効な薬は不明です。卵を除去すること

が今のところ最も有効な手段です。山の木に付着した卵塊については、今後対策を検討します。

〔要望〕大谷川沿いは禁漁区、または（魚類の）保護区にしてほしい。

〔回答〕漁協支部長に伝え、実現可能か相談します。

〔要望〕デマンドバスを当日に予約しても乗れるようにしてほしい。せめて当日の午前中に予約すれば午後のバスに乗れるようにできないか。

〔回答〕限られた車と人員で運行しているので、現状の体制を変更するのは難しいですが、これまでいただいた意見を参考にして、今後の運営を検討します。当面の間は前日までに予約してもらう運用でのご利用をお願いします。

〔質問〕デマンドバスの利用実績は。

〔回答〕平均すると1日あたり約10人です。現在も少しずつ増えています。

〔質問〕9月議会で承認された補正予算で、汚染による農業廃棄物処理とは何か。

〔回答〕平成23年の牧草です。現在、所有者が保管していま

が心配なので、町の施設は各地区に分散させるべきだ。

〔回答〕現在建設中の町営住宅は、施設の目的から宮下に建設するのが適していると判断しましたが、今後、新たに施設を建設する場合は用途に合わせて場所を検討します。

〔質問〕町営住宅の入居要件は。

〔回答〕18歳までの子どもがいる世帯を入居対象としています。詳細な入居要件は現在検討中です。

〔意見〕これまでは老人福祉を重視し過ぎた。町のためには今後、若者のための事業を同じ程度重視すべきだ。

〔回答〕今後も雇用創出や起業支援について継続して力を入れていきます。

〔意見〕サイノカミヤ虫送りなど伝統行事を担う子どもがいなくなっている。

〔回答〕他地区の子どもたちに協力してもらい、行事の継承に努めています。

〔要望〕例年雪の影響で倒木が多い。実際に被害が出てからでは遅いため、事前に危険木除去の周知をお願いしたい。

〔回答〕立木の適正管理を呼びかけていきます。また、町外

に転出している方などには、地区でも声かけをしていただきたいと考えています。

〔質問〕宮下病院は存続する方向性でいるのか。

〔回答〕耐震改修も決定しており、今後も存続する予定です。また、診療科目の充実などにも要望していきます。

〔質問〕林業施策について、町として計画はあるのか。

〔回答〕来年度から森林再生事業の中で全体計画を定めて実施していきます。

〔質問〕熊の出没情報が多いが、町で有害鳥獣対策はどうしているのか。

〔回答〕里山整備事業で山と人里との間に緩衝帯を作り、有害鳥獣の人里への出没を防ぎたいと考えています。

〔要望〕シルバー人材の相談窓口などを設けて、高齢者に退職後も働く場を確保してもらいたい。それが生きがいや健康づくりに役立つと思う。

〔回答〕以前は町内にも民間でシルバー人材サービスがあったので検討します。

〔質問〕町村合併は考えているのか。

〔回答〕想定していません。

〔質問〕六次産業化とはどういったものか。また町で実施した取り組みはあるか。

〔回答〕一次産業（農林水産業）、二次産業（製造業）、三次産業（サービス業）が一体となり一つの商品を生み出す取り組みです。事例として、会津地鶏が六次産業化（生産、加工、販売）のひとつです。

〔要望〕Uターン者や若年層に仕事の斡旋や補助、結婚対策などを積極的に行ってほしい。

〔回答〕引き続き若者定住にむけ検討していきます。

〔質問〕農振計画が進まない理由は。

〔回答〕県と町とのデータに差異があり、突合が進んでいないのが原因です。現在、農林事務所と連携して計画の見直しを進めています。

〔質問〕町内の農業法人が稲作から撤退し、高齢化も進み、耕作を継続するのがより難しくなった。今後、田畑をどう維持したらいいのか？また農作物を売っても赤字が続く、先行きに不安があるという声が多い。

〔回答〕農業法人を設立し耕作放棄地などの課題解決に向け

付近でごみが目立つ。

〔回答〕スキー場利用者に指導していきます。

〔質問〕桧原―滝谷バイパス工事計画の進捗状況は。

〔回答〕県からの回答は、全体的な計画の検討を実施している状況で、地質調査と並行して、法線等の見直しも含めて検討しているようです。

〔要望〕SL運行時に撮影に訪れる観光客のマナーが非常に悪い。次年度は運行してほしい。

〔回答〕次年度以降も運行する場合は、町でも見回りを行うなど関係機関と連携して対応していきます。



川井地区で行われた地区座談会



雪山にカモシカ

文・写真 町民記者 渡部 和さん（大石田）

青空の広がった12月28日、大石田地区・二ノ平に一頭の若いカモシカが現れました。急斜面で木の芽を黙々と食べていましたが、顔を上げ目が合ったとたんに山を駆け上り、あっという間に雪の向こうへと消えました。冬は山の動物たちにとっても厳しい季節。たくましいカモシカの姿に励まされるようです。人も動物も、無事に春を迎えたいものです。



鎮守様に新しい注連縄

文・写真 町民記者 渡部 和さん（大石田）



大石田地区高尾神社の注連縄作りが、大晦日に地区の壮年クラブによって行われました。長年受け継がれてきたこの行事に、今回は22人が参加しました。お神酒をいただき、火をおこして暖をとりながら、ベテランと若手が協力して縄を編んでいます。夕刻、出来上がった注連縄を若者たちが担いで神社へ運び、古いものと掛け替えしました。今冬は例年より早く大雪を迎えましたが、新しい年も無事に守られますようにと祈りました。



川井音松寺のお日待ち

文・写真 町民記者 角田伊一さん（川井）

1月8日、川井・大登地区で恒例のお日待ち行事が行われました。午前10より大勢の壇信徒が松音寺で住職より大般若經の輪読をうけたあと、先祖を祀った位牌堂で香を焚き、住職の法話を聞きお札と護符をうけました。

今では宗教行事ですが、昔は新月の日の朝日をむかえる民間行事で、当元の家にあつまり風呂で身を清め、夜を徹して歓談し日の出を待って散会し、この日戴いた祈祷札を村境や辻に立て、各家の門口に貼り災難除けにする行事でした。

なお、この日は壇信徒による護持会の総会も兼ね、年間行事や役員の改選などもおこなわれています。



和氣あいあいと、「女のご年始」

文・写真 町民記者 坂内 洋二さん（西方）



1月16日、西方の西隆寺では「女のご年始」が行われました。一般に小正月の1月15日を「女の年取り」として16日に女性が寺参りする習わしがありますが、西隆寺でも檀家の女性が三々五々お参りに訪れ、位牌堂で祖先の霊に焼香した後庫裏で年始の挨拶を交わし、まんじゅうの天ぷらや差し入れの甘酒、いびり餅等を味わいながら、賑やかに世間話に花を咲かせていました。



地区の発展と健康を願い新年会

文・写真 町民記者 佐々木 邦雄さん（桧原）

桧原地区の新年会は、元日の午前10時より多目的集会所で、多くの参会者のもと開催されました。海老名英機区長の挨拶ではじまり、海老名健議員に祝辞をいただき、還暦を迎えた阿部時夫さんの音頭で、地区の発展と健康を祈願しながら乾杯し、新年を祝いました。

祝宴では、雪解け後の農作業準備や今年一年の計画を話し合いながら、穏やかな楽しいひと時を過ごしました。



早戸地区でお参りと新年会

文・写真 町民記者 五十嵐 信一さん（早戸）



1月1日、午前10時から早戸地区で、神社参拝と新年会が行なわれました。例年は、地区内の大山祇神社まで、急な坂を歩いて登りますが、今年の冬は雪が多く神社まで行けなかったため、神社参拝を生活改善センターで行なうことにしました。その後、各戸から1～2名が参加して新年会が催されました。高齢化が進んだためか、子ども世代の出席が多いようでした。会は大変盛り上がり、早戸地区全員の健康と幸せを願いながら散会となりました。



宮下地区新年会

文・写真 町民記者 小島 純さん（宮下）

1月1日、宮下地区の新年会は宮下活性化センターで行われました。近藤勇彦区長の年頭のあいさつの後、祝宴に入りました。地区住民約40人が参加し、今年一年の地区の発展や安泰を誓い合いました。



消防団出初め式

文・写真 町民記者 小島 純さん（宮下）



三島町消防団の出初め式は1月6日、午前10時のサイレンを合図に役場を出発し、宮下地区内をパレードしました。三島保育所の幼年消防クラブも参加しました。その後、三島神社で無火災祈願をしました。



出初式で無火災祈願

文・写真 町民記者 角田 陽市さん（大登）

1月6日、町内一斉に消防出初式が行われ、大登地区においても一斉サイレンを合図に多賀神社を参拝し、無火災祈願を行い今年1年の無火災に向け、誓いを新たにしました。参拝終了後は、地区内の消火栓・防火水槽など消防施設の除雪及び点検と火防督励を行い、予防消防を呼びかけました。また、昨秋に更新されたばかりの消防ポンプの操作説明、放水訓練も併せて行い、参加した消防団員は真剣に取り組んでいました。



民話



第47話
きつねとかわうそ

元話
故 佐藤新一郎さん（西方）
再話
五十嵐七重さん（西方）

むかしむかしあったどこきつねというものはうそこぐだあ。かわうそちゅうのは正直だあ。
冬なあ、きつねがかかうそのどごさ魚くい来たどお。かわうそは魚取るのが上手だからなあ、いつも来んだわあ。
「おい、魚焼けどがあ？」
「おお焼けどお、ほれほれ」なんて馬鹿にされでもきつねと仲よくしてだのなあ。あつ時な、きつね、かわうそんどこ馬鹿にして
「かわうそどん どうした」って寄ってった
「はあ 良ぐ来た。今 魚焼けどだばかりだ」したれば、きつねいったさうだ

「俺ばっかりごつつおになっていらんにえがら、俺家さも来あ」かわうそ喜んで行つたどお。めずらしがんなあゝ呼ばっちゃなの
「おい来たぞお ドンドン」
「……」「あれ？ 寄んぞお」戸開けだらきつね天井向いでる。いごがねえ。ごつつおにならんにえがらトットトもどつて寝だどお。
したらば、朝げ早えどごきつね来て
「おお悪いがった。ゆんべは天井の神様に用たのまつちえ、愛想らんねがった」
「はあ そうだったのがあ。んじやらば、魚食えよ」
「いやはや 悪いがったあ。今夜はじえつてえ来およ」つてたあど。かわうそまた行つたべえ「おい来たぞお ドンドン」
「……」
戸開けだらきつね、下向いでいごがねえだどお。かわうそは、首つ玉ふりふりもどつと寝だどお。
したらば、朝げ早えどごきつね来て

「おお悪いがった。ゆんべは地の神様に用たのまつちえ、愛想らんねがった」
「はあ そうだったのがあ。んじやらば、魚食えよ」
「いやはや 悪いがったあ。にしは何でこうだに魚取り上手なだあ？」
こう聞いたじゆうだなあ。そんじえ、かわうそ言つたあ
「わけねえ、そうだどご。朝げ早ぐ川さ行つて、氷ぶつかいでしつぽ川さ入つちよぐど、魚集まつてとれんだわあ。やつてみらつしえ」つたど。
「それは良いもんだあ」
きつね、朝早ぐ川さ行つて、氷ぶつかいでしつぽ川さ入つちえだどお。したればしつぽが凍みづいで、とれなぐなつちまつたべえゝ
「キャンキャン キャンキャン」
泣ぎ泣ぎしつぽ引つ張つたがら、もげだゝもげだゝ尻尾もげでキャンキャンつて泣き泣き、山さあがつてつたどお。
ざつとむかし さげだ

こんにちは。協力隊です。

Vol.16

三島町地域おこし協力隊 三浦 健太郎

三島町では4月から活動してもらう「地域おこし協力隊」を4名募集しています。

その募集・PRのため、1月18日に東京ビッグサイトで行われた「JOIN移住・交流&地域おこしフェア」というイベントに参加してきました。イベントでは全国各地の自治体が出展し、移住や二地域居住、または地域おこし協力隊の募集についての相談を行い、三島町は地域おこし協力隊募集ブースに「歳時記の郷奥会津」として他町村と合同で出展しました。

イベントでは100を超えてる自治体が集集を行っており、地域おこし協力隊に興味のある来場者を取り合うような状態でした。来場

者数に対して、募集者のほうが多く、完全な売り手市場となっていました。

そのような状況で、「歳時記の郷奥会津」ブースでの相談件数は30件ほどありました。全員と話したわけではありませんが、そのほとんどの人が、まず仕事や活動内容といった部分に関心を持っていました。奥会津や三島町の地域性についての意外でしたが、自分が地域おこし協力隊に応募した時も、たしかに三島町だからというよりも仕事の内容で選んでいました。

そう考えると、どの地域に移住するかのポイントとしては、「地域性」よりも「活動内容」のほうが大きな比重を占めているよう

です。もちろんその地域に縁があったり魅力を感じて選んだらというケースも多くあると思いますし、実際にそういった話もいくつも聞いています。それでも極端に言えば、縁があつても全く興味のない仕事ではわざわざ移住する人は普通いません。せつかく地方に移住するからには、今までの自分の経験や培ってきたスキルを活かせる仕事がい、より地域に貢献したいと思う人が多いようです。

また、私がこの記事で何度か書いているように、住むことに関しては慣れてしまえば何とかなるものだと思いますし、地域おこし協力隊として移住した地域が嫌になって辞めてしまったというケースはあまり聞い



写真上／JOIN移住・交流&地域おこしフェアの様子
写真左／会場となった東京ビックサイト

たことはありません。
一方でやりたい仕事がない、理想が実現できないという理由で辞めてしまつたり不満を持つたりする人は多いようです。このように、「活動内容」というものは、「地域おこし協力隊」の応募から任期終了までの全ての段階において、非常に重要な要素となっているのだと思います。

今回は「観光行政関係」「商工会関係」「農業法人関係」という3つの職種で募集していますが、それぞれに上手くマッチングする人に応募してもらえれば、きつと三島町にとっても応募される方にとつても後々のことを考えても良い結果になるのではないのでしょうか。自分自身もまだ一人の「地域おこし協力隊員」で偉そうなことを言える立場ではありませんが、自分の今までの経験ではそう感じました。

Book Review

●利用時間 ⑨～④ 9:00～21:00 ⑨⑩ 9:00～17:00 ●お休み 年末年始 ⑩教育委員会 ☎ (48) 5599



盲導犬クイールの一生

秋元 良平 写真
石黒 謙吾 著
文芸春秋社

盲導犬が使用者とめぐり合うまで、その育成にかかわった人々が、いかに愛情を注ぎしつけ教育育てていったか。その過程が写真と共に紹介されているノンフィクション絵本とも言えるべき作品。



13歳からの家事のきほん46

アントラム 栢木利美 著
海竜社

誰も教えてくれなかった本当に必要な生活の知恵。掃除の基本、片づけの基本、洗濯の基本、料理の基本ほか、沢山のイラストつきで見ただけでも納得！



ガラスのうさぎ

高木 敏子 作
武部 本一郎 画
金の星社

作者が12才で体験した戦争の記録。空襲で両親と2人の妹、家も失いながら、強く生きていく姿を通して、戦争のおろかさを訴える。

保健・子育て・健康づくり

☎町民課 ☎(48) 5565



実施予定

4カ月児健診

3月10日㊥ 11:15～ 坂下厚生総合病院

乳幼児健診

2月26日㊥ 13:00～ 町民センター

足腰げんき教室

▶室内運動編

2月18日㊥ 13:30～ 町民センター

心の健康相談（※事前申し込み必要）

2月17日㊥ 13:30～ 福寿草

3月9日㊥ 13:30～ 福寿草

【申込先】町民課 ☎(48) 5565

※この実施予定は、別に配布しました平成26年度健康づくり年間予定表（ピンク色の一枚刷り）から転記しています。

地域ふれあいサロン

サロンないり

2月18日㊥ 10:00～ 名入公民館

浅岐あったかサロン

2月19日㊥ 10:00～ 浅岐集会所

川井地区福祉座談会

2月24日㊥ 10:50～ 川井集会所

地域ふれあいサロンのつどい

2月26日㊥ 13:00～ 町民センター

☎町社会福祉協議会 ☎(52) 3344

県立宮下病院から

診療日記

～ Klotho (クロトー) 遺伝子について～

内科医長 小山大輔 医師

聞きなれない言葉だと思いますが、近年、クロトー遺伝子はいわゆる「老化抑制遺伝子」として注目されています。

この遺伝子が発見されたのは、ある遺伝子改変マウスを作成する過程で、寿命の短縮、成長障害、不妊、血管の石灰化、骨粗しょう症、肺気腫、認知症などいわゆるヒトの老化に類似した症状を有したマウスが出現したことがきっかけでした。それが一つの遺伝子の突然変異に起因することが判明し、ギリシャ神話に登場する生命の糸を紡ぐ女神「クロトー」にちなんでクロトー遺伝子と名付けられました。逆にクロトー遺伝子を過剰発現させると、マウスの寿命は20-30%延長されることが報告されています。

クロトー遺伝子は主に腎臓で産生され、腎不全の患者では発現が低下している可能性が示唆されています。当院ではクロトー遺伝子と動脈硬化の関連についての臨床研究を行っています。興味のある方はお声をおかけください。

2月の納税(保険料)

納期限 3月2日

▶固定資産税 第4期

▶国民健康保険税 第6期

▶介護保険料 第6期

▶後期高齢者医療保険料 第7期

合同求人面接会

「就職フェア in あいづ 2015」

主催：会津地域雇用創造推進協議会

共催：福島県中小企業団体中央会

◆日時 2月18日㊥

13:00～16:00

◆場所 アピオスペース
(会津若松市インター西90)◆対象 求人事業所、一般求職者
新卒予定者等

☎会津地域雇用創造推進協議会

☎0242 (23) 9182

http://www.aizu-koyou.net

ご寄附
ありがとうございました

ふるさと納税(町へのご寄附)

飯塚孝様(郡山市)

町社会福祉協議会への寄附

ご遺志によるもの

渡部昇様(大石田)

二瓶辰雄様(西方)

小柴正幸様(西方)

渡部佐吉様(西方)

久保田孝雄様(間方)

北館長一様(西方)

小島静子様(荒屋敷)

町の人口と世帯

1月1日現在

人口	1,820	-6	出生	2
男	880	0	死亡	4
女	940	-6	転入	3
世帯	817	-4	転出	7

⑧住民基本台帳による数値です。増減は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1カ月間に届出のあった人数です。

会津坂下消防署三島出張所から

除雪作業に注意しましょう

◆屋根・はしごからの転落◆

高所での除雪には特に注意が必要です。屋根に上らないことが1番の対策ですが、やむを得ず屋根の除雪を行う場合、家族、近隣に知らせてから作業を始め、はしごはしっかり固定し、ヘルメットと命綱の着装（適切な長さでの着装）をお願いします。

また、晴れた日ほど雪が緩むので、雪と一緒に滑り落ちないように注意しましょう。

◆用水路への転落◆

雪を捨てるために、用水路を使用する人も多いと思います。まさか落ちるはずがないと思うのではなく、スリップした拍子に転落してしまうことや、疲労が溜まりふらついて転落してしまうこともあるので常に注意が必要です。

◆除雪機の巻き込み◆

作業中、除雪機に雪などが詰まり調子が悪くなることがありますが、必ずエンジンを切ってから除雪機に触れるようにしてください。機械に巻き込まれ大怪我をする事故が、毎年全国で発生しています。

◆屋根からの落雪◆

晴れた日には、屋根からはみ出した雪が落下してくる危険があります。なるべく近付かないようにし、除雪する際は、落下してくる雪に注意しながら作業してください。

万が一のことがあった場合すぐに連絡できるよう、携帯電話を持って作業しましょう！

☎会津坂下消防署 三島出張所

☎(52) 3032

会津坂下警察署からのお知らせ

三島町での刑法犯(12月) **0**件

携帯サイトの利用は慎重に！！

携帯電話やパソコンの利用を通じて、詐欺、恐喝、性犯罪などの事件に巻き込まれることがあります。コミュニティサイト（ゲームや交流サイト、ブログ）に潜んで悪いことをたくらむ者に気をつけましょう。

◎ゲーム系サイト

初めは無料でも、ゲームをクリアするために必要な有料アイテムを次々と購入した結果、多額の請求を受けた。無料をうのみにしないこと。

◎メール（迷惑・勧誘メールなど）

届いたメールに記載されたアドレスをクリックしたら勝手に会員登録されてしまい、身に覚えのない請求を受けた。万が一、クリックしてお金を請求されることがあれば、家族や警察署などに相談してください。

◎交流サイト

交流サイトで知り合った異性と仲良くなり、直接会ったらいせつなことをされた。サイトで知り合った他人とは容易に会ったりしないこと。

◎ブログ

ブログで知り合った人にお問い合わせの、言われるがままに裸の写真を送ったらネットに写真がアップされてしまった。ネットに流出してしまった画像は回収不可能になるので絶対に送ったりしないこと。

街頭犯罪発生件数(1月～12月)

区 分	管 内	三島町
強 盗		
空き巣ねらい	8	2
忍び込み	10	3
事務所荒らし	1	
出店荒らし		
自動車盗	1	
オートバイ盗		
自転車盗	13	
自販機ねらい		
車上ねらい	2	
ひったくり		
部品ねらい	2	
強制わいせつ		
街頭犯罪合計	37	5
全 刑 法 犯	116	8

※全刑法犯には街頭犯罪以外（器物損壊、暴行、傷害、万引き、詐欺など）の犯罪発生件数が含まれます。

福島県の最低賃金

(平成26年10月4日発効)

時間額 **689円**

※最低賃金は、常用・臨時・パート・アルバイトなどにかかわらず、県内の事業場で働くすべての労働者に適用されます。

詳しくは、福島労働局賃金室 ☎024 (536) 4604、または最寄りの労働基準監督署へお問い合わせください。



美しい小さな町で 大きな未来を一緒に描きませんか

地域おこし協力隊 4 名募集します。

農業法人関係…2名

●業務内容

- ①町内における農作業受委託による農業活動（稲作など）
- ②町内における花卉栽培及び園芸作物の生産・販売
- ③特産品の開発・販売、情報発信に関する活動
- ④高齢者世帯などの除雪支援活動
- ⑤その他、農業振興などを通じて地域が元気になる活動

行政観光関係…1名

●業務内容

- ①三島町の観光 PR 活動（SNS・HP 等）
- ②三島町観光協会の支援活動
- ③三島町の観光施設の管理及び利活用促進活動
- ④町主催のイベント運営活動
- ⑤その他、三島町の観光振興に関する活動

商工会関係…1名

●業務内容

- ①三島町商工会の若手メンバーとともに実施する「双方向型流通」による起業に関すること
- ②地元のものを生かした商品開発、販路開拓に関すること
- ③移住交流を通じた地域活性化に関すること
- ④その他、三島町の商工振興を中心とした町づくりに関すること

募集に関する共通事項

●募集対象

- ①地域になじみ、心身ともに健康で、地域住民と協力しながら地域活動に取り組める方
- ②都市地域などから三島町に住所を移し居住できる方
- ③概ね年齢 20 歳以上 40 歳未満の方
- ④普通自動車免許を有する方
- ⑤パソコン（ワード・エクセル・メール等の基本操作）ができる方。

●賃金

月額 166,000 円（賞与なし）

●募集期限

平成 27 年 3 月 10 日（火）まで

●応募先／お問い合わせ先

三島町役場 地域政策課
〒969-7511 福島県大沼郡三島町宮下字宮下 350
☎ 0241(48)5533 FAX 0241(48)5544
E-mail seisaku@town.mishima.fukushima.jp